

# 令和3年度 第1回学校運営協議会(全日制部会)報告

【発送日時】 令和3年7月26日(月) 発送

令和3年8月15日(金) 締切

【発送者】

<学校運営協議会委員>

川村 幸治(学校法人大阪国際学園 学園長)、田井 秀夫(寝屋川市教育委員会 教育監)  
林 浩子(寝屋川市立第一中学校 校長)、永田 督之(P T A 会長)、北村 讓(北水会会長)、毎野 寿美子(本校 SCSV)

## 【資料】

- (1) 令和3年度 第1回学校運営協議会(全日制部会) レジюме
- (2) 令和3年度 第1回学校運営協議会名簿
- (3) 大阪府立寝屋川高等学校学校運営協議会(全日制部会) 実施要項
- (4) 令和3年度学校経営計画および令和2年度学校評価について
  - ①令和4年度教育課程(新カリキュラム)
  - ②観点別評価に関する取り組み
  - ③1人1台GIGAスクール構想に関する取り組み (Chromebook 研修)
  - ④授業力向上のために取り組み  
(授業見学週間、学力向上目標達成シート、研究授業計画)
  - ⑤前年度進路実績
  - ⑥人権教育に関する取り組み
- (5) 令和4年度使用教科書(採択・選定) 一覧表
- (6) 学校行事に関する報告 (学園祭、修学旅行)
- (7) 寝屋高みらいPT
- (8) 工事関係
  - ①外壁工事
  - ②建て替え工事 - 寝屋川高等学校整備基本構想)

## 【各委員からのご意見】

○令和3年度学校経営計画および令和2年度学校評価について

- ・学校長の学校経営方針に基づき、めざす学校像を中核として、細かに具体的目標、数値目標が練られている。

- ・PDCA サイクルの評価指標が半数を下回っているものの、昨年度より増加が明らかなので経過を見守りたい。 評価指標として研修後の満足度や活用度のチェックが必要。
- ・働き方改革の Google ドライブを用いた共有方法は、とても理にかなっている。スクラップアンドビルトの考え方では、まずスクラップの部分を重視し、必要性の低い業務を辞めるだけでも効果は高いと考える。

#### ○学力向上への取り組み

- ・教科ごとの特性はあるが、めざすべき授業のあり方の教職員間の共通認識は非常に重要で「寝屋川スタンダード」の生徒・保護者に向けての提示をしてほしい。「寝屋川スタンダード」を具現化、具体化するために教員が汗をかくことが必要である。
- ・教科指導研究が先達の指導技術の伝承や工夫を後進に引き継ぐ機会になっているのはとても素晴らしい試みで継続が望まれる。
- ・ICT 活用については、今後の重要課題であるのが、当たり前になるまで使用頻度を上げる。Chromebook の導入は教員の負担増だが、今から使いこなして、常に自身のアップデートを心がけてほしい。また、生徒はすぐに順応できるが、自発的な力が芽生えるかが課題である。

#### ○教育相談機能の充実

- ・中学から進学した生徒は様々な家庭環境や生徒の個々の状況に応じて手厚い支援や学校全体でのフォローアップを強くお願いしたい。